

国立国語研究所学術情報リポジトリ

表紙, 目次, 中扉, 奥付

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-03-18 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00002717

国立国語研究所
共同研究報告 13-02

ISSN 2185-0127

首都圏の言語の実態と動向に関する研究 成果報告書
首都圏言語研究の視野

三井 はるみ 編

2014（平成26）年2月

国立国語研究所
共同研究報告 13-02

首都圏の言語の実態と動向に関する研究 成果報告書
首都圏言語研究の視野

三井 はるみ 編

2014（平成26）年2月





大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立国語研究所
萌芽・発掘型共同研究プロジェクト

首都圏の言語の実態と動向に関する研究

研究期間

2010年11月～2013年10月（取りまとめ期間～2014年3月）

研究組織

プロジェクトリーダー

三井はるみ（国立国語研究所）

共同研究者

亀田裕見（文教大学）

久野マリ子（國學院大學）

田中ゆかり（日本大学）

鎌水兼貴（国立国語研究所）

吉田雅子（実践女子大学） ※2013年4月から

主な成果物

- (1) 鎌水兼貴（編）『首都圏の言語の実態と動向に関する研究 全国若者語調査地図集』, 国立国語研究所共同研究報告 12-04, 2013年3月
- (2) プロジェクト成果公開 Web サイト「首都圏の言語の実態と動向に関する研究」,
<http://www.ninjal.ac.jp/shutoken/>, 2013年6月30日公開
- (3) 三井はるみ（編）『首都圏の言語の実態と動向に関する研究成果報告書 首都圏言語研究の視野』, 国立国語研究所共同研究報告 13-02, 2014年2月（本書）
- (4) 吉田雅子・三樹陽介（編）『首都圏の言語に関する研究文献目録（稿）』（『首都圏の言語の実態と動向に関する研究成果報告書 首都圏言語研究の視野』別冊）, 2014年2月

※（1）（3）は、国立国語研究所ホームページからダウンロード可。

首都圏言語研究の視野

目次

はじめに (三井はるみ)

第1部 対象と方法

1. 非標準形からみた東京首都圏若年層の言語の地域差 (三井はるみ) 1
 - (1) はじめに
 - (2) 「首都圏」の位置と範囲
 - (3) 「首都圏」で話されていることばの性格
 - (4) 首都圏若年層のことばの地域差を探ること
 - (5) 調査の概要
 - (6) 結果の概要
 - (7) 明瞭な地域差
 - (8) 分布域の変化
 衰退／普及／再普及
 - (9) 23区内の言語境界線
 - (10) 非標準形の使用を避ける地域
 - (11) 非標準形から新しい共通語へ

2. 首都圏方言の形成と共通語化 (久野マリ子) 19
 - (1) 首都圏方言について
 - (2) 首都圏方言の特徴
 - (3) 首都圏方言と共通語との違い付録：「新・東京都言語地図」より

3. 「首都圏の言語」をめぐる概念と用語に関して (鎌水兼貴) 39
 - (1) はじめに
 新しい世代の方言使用を説明する枠組／研究背景の変化／首都圏構成員の変化／
 - (2) 地域としての「首都圏」

- 東京・首都／旧東京 15 区・東京 23 区／多摩地域・都下／首都圏／
中心・周辺関係からみた首都圏／構成員における「はえぬき」の割合
- (3) 「首都圏の言語」を考えるための観点
標準語⇔共通語／公的⇔私的／方言⇔俗語／意識⇔無意識／理解⇔使用
- (4) 「新方言」「ネオ方言」と首都圏の言語
新方言とネオ方言の違い／中間段階の体系の位置づけ／
首都圏における新方言・ネオ方言／首都圏の中心である東京中心部
- (5) おわりに

4. 【講演】私のとらえたい東京語（飛田良文）…………… 55

- (1) 問題の所在 — 「東京語」の定義の曖昧さ
- (2) 「東京語」に対する意識，東京人としての意識
- (3) 文学作品においても重要視された「東京語」
- (4) 外国人も必要性を主張した「東京語」
- (5) 「東京語」の区域と東京人意識
- (6) 「標準語」・「東京語（＝共通語）」・「東京方言」の捉え方
- (7) 「東京弁」と「東京語」の違い
- (8) 武士言葉が「東京語」へ与える影響
- (9) 標準語（国定教科書）が「東京語」へ与える影響
- (10) 世代差が見られた「東京人意識」
- (11) 「東京語」研究の流れ
- (12) おわりに

質疑応答

第2部 個別研究

[地域研究]

5. 首都圏若年層における非標準形使用意識の地理的分布（鏑水兼貴・三井はるみ）…… 73

- (1) はじめに
- (2) 調査概要
- (3) 首都圏若年層における非標準形の分布
非標準形の分布概観／首都圏若年層における非標準形の分布境界
- (4) 使用意識の地域差
使用意識に地域差はみられるか／非標準形カタスの普及経路
- (5) まとめ

6. 飛田良文「東京語調査」の概要
—山手線・青梅線・総武線を中心に— (竹田晃子) 84

(1) 本稿の目的と資料の経緯

(2) 調査の概要

企画立案と調査全体の概要／調査方法 (地点・話者) ／調査項目 (言語意識) ／
調査項目 (言語項目) ／調査結果の集計

(3) 調査結果

東京人意識／日常ことば意識／音韻 (シ／ヒ) : 「東」「人」／
音韻 (ジュ／ジ) : 「新宿」「手術」／アクセント : 「坂」／アクセント : 「心」／
語彙 : スターキ／語彙 : おにぎり／語彙 : かつおぶし／
文法 : 「食べちゃう (食べちゃった)」／文法 : 「起きれなくて」

(4) おわりに

付録 : 飛田良文「東京語調査票」1994-1999 調査項目一覧

7. 埼玉県西部地域における伝統的方言の分布調査の経過報告
—「秩父方言」の広がりと境界— (亀田裕見) 111

(1) 研究目的

(2) 先行研究

(3) 調査概要

(4) 地図例の紹介 —3点に注目して—

東秩父村の位置づけ／児玉郡の位置づけ／文法項目の地図 「～サレル」の分布

(5) まとめ

[全国の中の首都圏]

8. 「全国若者語調査」における言語伝播モデル (鐘水兼貴) 129

(1) はじめに

若者語とは／若者語の地理的研究の意義

(2) 全国若者語調査

調査準備／調査の実施 (調査期間 調査項目 生育地) ／
言語地図の作成 (作図方法 地図の特徴 地図の注意点)

(3) 分析

全国規模の地域差 (関西圏中心の分布 首都圏中心の分布) ／
中心部から周辺部への伝播 (各地方の中心部への普及 大都市間の相互伝播) ／
属性差に含まれる地域差 (男性のみに現れる地域差 女性にあらわれる地域差)

(4) まとめ

若者語の普及モデル／今後の課題

(5) おわりに

9. 関西方言出自の共通語「～てほしい」の普及の背景（三井はるみ）……………153

(1) はじめに

(2) 前稿で明らかになったこと

(3) 「～てほしい」進出の背景をさぐる観点

(4) 「～てもらおう」の用法の全国的地域差

(5) 受益明示の積極性

「～てもらおう」による受益明示の積極性とは／受益を必ずしも明示しない方言／
受益を積極的に明示する方言

(6) 待遇表現的使用

「～てもらおう」の待遇表現的使用とは／待遇表現的使用の活発な関西・近畿方言／
東京・首都圏方言の場合

(7) 「～てもらおう」の用法の地域差とその変容についてのまとめ

(8) 「～てほしい」の普及の背景としての「～てもらおう」の待遇表現的使用

[アクセント]

10. 【講演】東京・首都圏アクセント研究の課題（佐藤亮一）……………165

(1) 東京アクセントの変化 — 『東京語アクセント資料』（1985）から

(2) 東京アクセントの地域差

(3) 東京アクセントの地域差と世代差 — 『東京語音声の諸相(3)』（1993）から

(4) 方言アクセントの共通語化（東京アクセント化）

名古屋市 1997／宇都宮市 1984／仙台市 1983・福井市 1982／気仙沼市 2006

(5) 関東地方のアクセントと東京アクセントとの関係

(6) 東京・首都圏アクセント研究の今後の課題

質疑応答

11. 小田原市方言のアクセントの古相について（坂本薫）……………187

(1) はじめに

(2) 本稿で用いる表記について

(3) 調査について

調査方法／話者／調査語例

(4) 小田原市方言のアクセント体系

名詞／動詞／形容詞

(5) 古相の保持

三拍名詞の中高型のアクセント／多拍語の頭高型のアクセント／

動詞の同音異義語のアクセント／形容詞の2つの型の保持

(6) まとめ

12. 埼玉県特殊アクセントにおける3拍名詞の音調

—久喜市高年層に見られるゆれとその解釈— (亀田裕見) …………… 199

(1) 曖昧アクセントにおける音調のゆれ

(2) 調査概要

(3) ゆれの実態

(4) 音韻論的型以外の音調規則

(5) 音調をつくる規則とその適用の解釈 —二人の話者を例に—

(6) 「曖昧アクセント」という久喜市アクセントの位置づけ

13. データ統合・共有を目指した Web 言語地図の構築

—成果公開サイト「日本大学文理学部 Web 言語地図」の試み—

(林直樹・田中ゆかり) 【『語文』145 (2013.3) より再録】 …………… 208

(1) はじめに

(2) 「日本大学文理学部 Web 言語地図」概要

(3) 言語地図の描画

言語情報データ／話者情報データ／鉄道駅データ

(4) 言語データの統合・共有

試行データ／データ形式の統合

(5) 言語データの管理

参加登録／管理画面による言語データの管理

(6) Web 言語地図を利用する際の注意点

(7) 今後の課題

[音声]

14. 首都圏方言若年層の音声の変種 (久野マリ子) …………… 219

(1) 首都圏方言大学生が話している音声の実態

(2) 調査項目

(3) 結果

「雰囲気」／「全員」 「原因」／「定員」と「店員」／「会員」／「体育」 「女王」

(4) この調査からわかること

[方言の利用・言語景観]

15. 首都圏における方言の地域資源としての活用
— 通信調査の結果から — (亀田裕見)226
- (1) 研究目的
 - (2) 調査の概要
 - (3) 事例数の特徴
 - (4) 使用される方言の特徴
 - (5) 意識調査の特徴
 - (6) 首都圏の方言資源利用のタイプ分け
16. 首都圏における在来方言の地域資源としての再生の一事例
— 多摩地域の「のめっこい」を例として — (三井はるみ)231
- (1) はじめに
 - (2) 在来方言の地域資源としての利用
 - (3) 「のめっこい」の意味・用法
多摩地域の方言集から／多摩地域の市町議会会議録から／
「のめっこい」の意味・用法と方言利用
 - (4) 地域資源としての方言利用の動機
 - (5) 接触機会の増加と用法の変化の兆し
 - (6) 首都圏若年層の現状と今後の動向
 - (7) 地域語の観点から見た首都圏の言語
17. 街のなりたちと言語景観 —東京・秋葉原を事例として—
(田中ゆかり・早川洋平・富田悠・林直樹) 【『言語研究』142(2012)より再録】
.....241
- (1) はじめに
 - (2) 秋葉原言語景観調査概要
 - (3) フロアガイドからみた秋葉原
フロアガイドとは／フロアガイド調査概要／フロアガイド調査結果／
フロアガイド追加調査／フロアガイド調査のまとめ
 - (4) メッセージからみた秋葉原
メッセージの定義と調査概要／メッセージ調査報告と分析
メッセージ免税店追加調査／メッセージ調査のまとめ
 - (5) Web上の店舗サイトからみた秋葉原
Web調査概要／Web調査結果／Web調査のまとめ
 - (6) おわりに

[教育]

18. 国語教育と方言（小林初夫）……………257

- (1) はじめに
東日本大震災の発生と原発事故による避難／方言への関心と取り組み
- (2) 国語教育の現状と課題 ―国語の授業を考える―
国語の授業は好きですか？／変わらない国語の授業／
ことばの力を育てる授業になっていない／「伝統的な言語文化」＝古典か？／
国語教育に方言を取り入れる必要性／「聞く」ことを鍛える／
『学習指導要領』に対応させた方言の扱い方
- (3) 小学校での国語の授業の実際
「しっぽのやくめ」の授業例／ことばの力は育っているか／
ことばを大事に考える授業とは／国語の授業で最も大切なこと
- (4) 方言教材の必要性
ことばのゆれ／方言を調べよう
- (5) これからの国語教育
子どもたちの将来のことばを形作る教育／地域素材を見つける ―学校用語の地域差／
方言調べは自分の耳で聞いて／方言を扱った授業の実際

第3部 研究ツール・アーカイブ・データベース

19. 首都圏若年層の言語的地域差を把握するための方法と実践（鎌水兼貴）

【『国立国語研究所論集』6（2013.11）より再録】……………279

- (1) はじめに
- (2) 首都圏の言語について
「首都圏」の範囲／首都圏若年層の言語について／
首都圏若年層における地理的調査の必要性
- (3) 首都圏若年層に対する効率的な調査
調査コストを低くする必要性／授業時を利用した大学生に対するアンケート調査／
回答意欲を高める調査／授業を妨害しない調査／授業で活用可能な調査システムの必要性
- (4) 言語地図形式による回答結果の自動出力
言語地図作成の工程／言語地図作成の自動化／回答データ入力の自動化
- (5) 携帯メールを用いた調査
インターネット経由での回答データの収集／WEB調査と携帯メール調査の比較

(6) RMSシステム	
RMSシステム概要／各段階の説明／複数の調査の組み合わせ	
(7) RMSシステムを利用した調査例	
関東方言形カタス／カタスのRMS調査／調査結果／	
授業におけるRMSシステムの利用	
(8) おわりに	
20. 「首都圏の言語の実態と動向に関する研究」プロジェクト成果公開サイト紹介 (三井はるみ)	306
(1) はじめに	
(2) プロジェクト成果公開サイトの概要	
(3) 首都圏大学生の言語使用と言語意識の地域差に関する研究	
(4) 「東京のことば」研究者インタビュー	
内容／企画の経緯／公開部分の選定	
(5) 首都圏の言語に関する研究文献目録	
内容／作成の経緯／補充・改訂	
(6) 東京語アクセント資料	
(7) おわりに	
21. 「首都圏の言語に関する研究文献目録」からみる研究動向 (三樹陽介)	316
(1) はじめに	
(2) 文献目録の作成方針	
(3) 文献目録「論文編」の概要	
全体像／地域別件数／地域・年代別, 文献数／言語分野別, 文献採録比率	
(4) まとめと今後の展望	
研究発表会開催記録	325

第1部
対象と方法

第 2 部
個別研究

第3部

研究ツール・アーカイブ・データベース

執筆者一覧

- 三井はるみ (国立国語研究所理論・構造研究系 助教)
亀田 裕見 (文教大学文学部 准教授)
久野マリ子 (國學院大學文学部 教授)
田中ゆかり (日本大学文理学部 教授)
鍮水 兼貴 (国立国語研究所時空間変異研究系 プロジェクト非常勤研究員)
飛田 良文 (国立国語研究所 名誉所員)
佐藤 亮一 (国立国語研究所 名誉所員)
小林 初夫 (福島県双葉郡浪江町立幾世橋小学校・福島市立岡山小学校(兼務)
教諭)
竹田 晃子 (国立国語研究所時空間変異研究系 特任助教)
三樹 陽介 (国立国語研究所時空間変異研究系 プロジェクト非常勤研究員)
林 直樹 (日本大学文理学部 助手A)
坂本 薫 (國學院大學大学院文学研究科博士後期課程1年)

国立国語研究所共同研究報告 13-02

首都圏の言語の実態と動向に関する研究 成果報告書

首都圏言語研究の視野

2014 (平成 26) 年 2 月 25 日発行

編者 三井はるみ

発行 大学共同利用機関法人人間文化研究機構 国立国語研究所

〒190-8561 東京都立川市緑町 10-2

電話 042 (540) 4300 (代表)

<http://www.ninjal.ac.jp/>

NINJAL Collaborative Research Project Reports 13-02

The Current States and Changes
in the Japanese Spoken
in the Metropolitan Area

MITSUI Harumi (ed.)

February 2014

NATIONAL INSTITUTE FOR JAPANESE LANGUAGE AND LINGUISTICS